

1. スキル審査の概要について

うちエコ診断士スキル審査は、診断実施機関がうちエコ診断士を登録する際の手続きとして、登録を希望するうちエコ診断士を対象に、うちエコ診断の実施に必要な「コミュニケーション力」「診断ソフトの操作力」などについて確認を行います。スキル審査の流れを以下に示します。

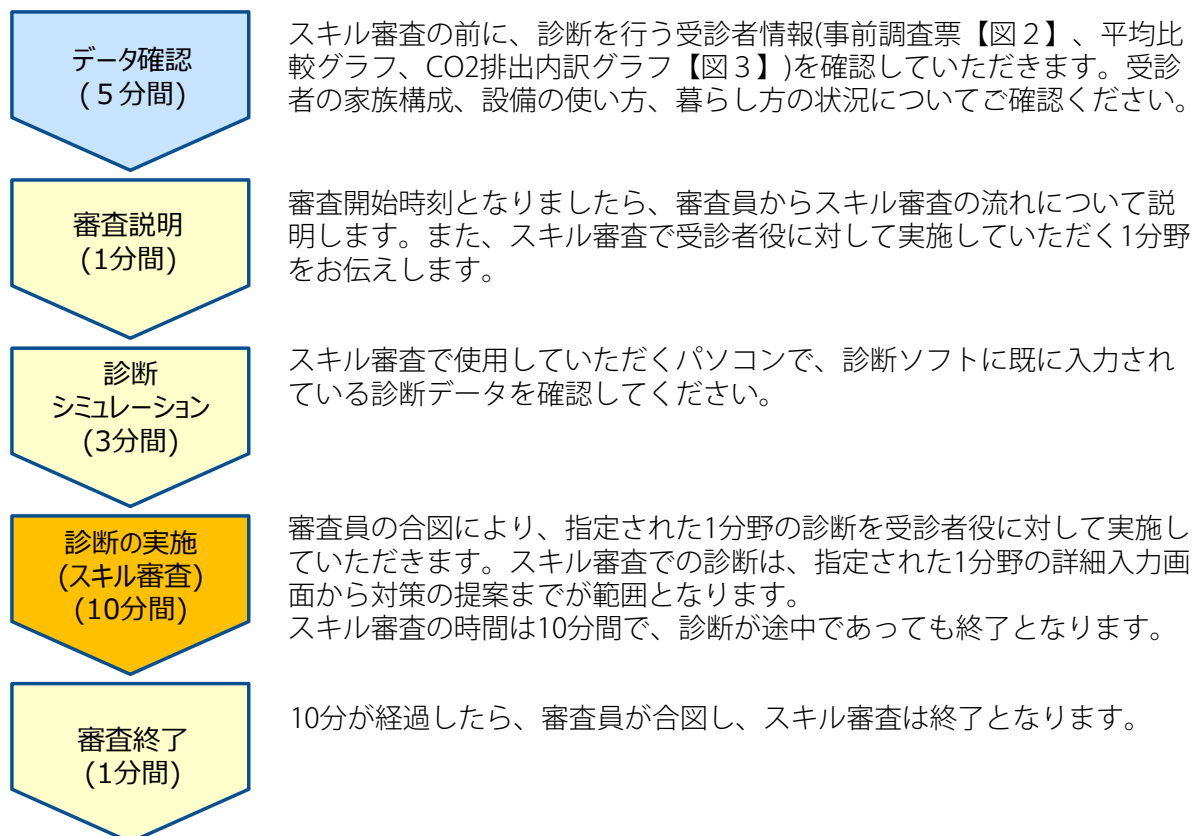


図 1 スキル審査実施のイメージ

うちエコ診断 事前調査票

受診番号

受診者ID 木村 世帯人数 3人

ご自宅住所 〒176-8501 東京(道・県・市・区) 練馬(市・区・町・村)

■個人情報取得について
当調査票の情報は、診断結果の通知や今後の利用に限り、関係者は共有第三者への提供は一切いたしません。なお、本事業の最終的な結果、成果の取りまとめを行うため、集約したデータを統計処理することがありますが、個人が特定できる状態で外部に提供することはありません。

設問1 世帯構成について

	10歳未満	10歳～19歳	20歳～59歳	60歳以上
男	1人	人	1人	人
女	人	人	1人	人

設問2 診断にあたっての関心について

環境化防止・省エネ行動の実施(いずれか一つの□に✓)

積極的に実施したい できる範囲で 協力はない

うちエコ診断で知りたい内容(あてはまるものすべての□に✓)

現在の自らのエコロジー度 自宅でどこまでCO2を削減できるのか 省エネでお得になるかどうか

家電製品の省エネ対策(診断を希望する製品:)

暑さや寒さに関する省エネ対策と効果 風呂・台所の省エネ対策と効果 交通の省エネ対策と効果

太陽光発電の費用と効果 その他()

設問3 お住まいについて

家の造り 一戸建て 集合 その他 家の所有 持ち家 持ち家でない

屋根の日当たり よい 少し遮る 悪い 太陽熱温水器 利用している 利用していない

太陽光発電 設置している ()kW 設置していない 太陽光発電の設置年 2010年度以前 2011年度 2012年度 2013年度以降

延べ床面積 5坪(15㎡) 10坪(30㎡) 15坪(50㎡) 20坪(65㎡) 20坪(65㎡)以上 分からない

築年数 昭和52(1977)年以前 昭和53(1978)年～平成3(1991)年 平成4(1992)～平成12(2000)年 平成13(2001)年以降 わからない

断熱設計の配慮 とても配慮した 一部配慮した 少し配慮した 配慮しなかった わからない

断熱材の種類 断 断 天井 床

窓の断熱 省エネ型複層ガラスか二重窓 通常の複層ガラス 単板ガラス わからない

設問4 エネルギーについて

ガスの種類 都市ガス LPガス まっていない 料理用コンロの熱源 ガス 電気

お風呂の熱源 ガス 電気 灯油 薪 電気の使用料金契約 している していない

設問5 電気・ガス・灯油代(おおよそ平均的な1か月の金額)について

家で暖房や給湯などに灯油を使っていますか 使っている 使っていない

	購入電気代	売電代(発電)※1	ガス代	灯油代※2
冬の1か月の料金	12,200円	円	9,800円	円
春・秋の1か月の料金	8,900円	円	5,700円	円
夏の1か月の料金	12,500円	円	4,300円	円

※1 売電は発電で消費している電力が収入になります
※2 灯油の消費量の削減が削減効果は、1年分の削減効果は量以下の1割程度でお考えください

設問6 部屋と冷暖房について

よく冷暖房する部屋は家のどの程度ですか? 家全体 半分くらい 一部 一部屋のみ 使わない

日常的に使用している エアコン エアコン以外の電気暖房(電気ストーブ、セラミックファンヒーター、電熱床暖房等)

暖房器具はどれですか? (あてはまるものすべての□に✓)

ガス暖房(ガスストーブ、ガス床暖房、ガスファンヒーター等)

石油暖房(石油ストーブ、石油ファンヒーター等)

炭酸ガス暖房(床暖房、床暖房機、電気蓄熱式セントラル等)

温水暖房(温水セントラル、温水床暖房等)

薪・木質ペレット

お墨付暖房を使わない(こたつやホットカーペットのみ)

冷暖房の使い方

冷房しない場合は、冷房機の記入不要

設定温度は同じですか	暖房	冷房
毎カ月ぐらいい冷暖房を使用しますか	22℃	27℃
1日に毎時間使いますか	4ヶ月	3ヶ月
	6時間	6時間

暖房時にどのような服を着ていますか? かぶり厚 厚着 薄着 半袖

設問7 部屋、家電製品について

通ごすことの多い部屋名	部屋の広さ	設置エアコンの使用年数
1 リビング・キッチン	10畳	5年
2 子ども部屋	6畳	3年
3 畳	畳	年

白熱電球を使っている場所がありますか? はい いいえ

照明で利用している照明の種類 白熱球 蛍光灯 省電力LED LED

テレビを付けている時間 6時間/日 ポット・ジャーの保温 している していない

衣類乾燥機の使用 毎日 2日に1回 週1～2回 月1～3回 使わない 持っていない

冷蔵庫・ストッカーの保有台数 1台

冷蔵庫・ストッカーの使用年	種類	使用年数	定格内容量
<input checked="" type="checkbox"/> 冷蔵庫	<input type="checkbox"/> ストッカー	2年	370リットル
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫	<input type="checkbox"/> ストッカー	年	リットル
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫	<input type="checkbox"/> ストッカー	年	リットル

設問8 お風呂・洗濯について

結果的に省エネ型ですか? (エコキュート、エコジョーズなど) はい いいえ わからない

お風呂の使い方

	夏の時期	夏以外の時期
お風呂に湯をためる日数	1週あたり 0日	1週あたり 7日
家族全員でシャワーを使う時間の合計	1日あたり 30分	1日あたり 20分

洗濯でお風呂を使う頻度 使わない 2ヵ月 4ヵ月 6ヵ月 8ヵ月 10ヵ月 12ヵ月

設問9 交通利用について

自家用車 ガソリン車 軽自動車 使っていない 車の保有台数 1台

月平均燃料代 円 または 30分/時

主に使う車の燃費 18km/L以上 13-17km/L 10-12km/L 7-9km/L 6km/L以下 わからない

車を使用する主な行き先	どの程度、自家用車を使いますか	片道距離(km)
1ヶ月前目 子どもの塾の送り迎え	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 週5回 <input checked="" type="checkbox"/> 週2-3回 <input type="checkbox"/> 週1回	月2回 月1回 5km
2ヶ月前目 テニス教室	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 週5回 <input type="checkbox"/> 週2-3回 <input checked="" type="checkbox"/> 週1回	月2回 月1回 12km
3ヶ月前目	<input type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 週5回 <input type="checkbox"/> 週2-3回 <input type="checkbox"/> 週1回	月2回 月1回 1回 1回 km

以上で終了です。ありがとうございました。

図 2 受診者情報のサンプル-1



図 3 受診者情報のサンプル-2

10 分間の診断では、受診者役を相手に「6.個別の対策（1/2）」と「7.個別の対策（2/2）」の1分野の診断を行っていただきます。スキル審査の対象範囲を図4に示します。

スキル審査では、うちエコ診断の流れである「1.データの読み込み・挨拶」から「5.事前調査の結果表示」までは、診断を実施した前提として行いますので、スキル審査ではこの範囲について再度の説明は不要です。

診断ステップ	主な診断内容（例）	対象画面	スキル審査
1 (診断準備) データの読み込み (診断開始) 挨拶	① ecoファイルの読み込み ② 身分の説明、事業の概要説明 ③ 診断の流れの説明		スキル審査では、この部分は診断を済ませた前提で行います。 受診者の情報は、スキル審査の前に紙と診断ソフトで確認いただけます。
2 事前調査の確認	① 事前調査票の入力に間違いがないか確認 ② 事前調査票の回答のないところを再確認 ③ 受診者の環境意識の確認（相手の目線、レベルを理解する）		
3 事前調査の結果表示 (1) 平均比較	① 左グラフの構成の説明 ② 平均値との比較（平均値の説明） ③ 右グラフの構成の説明 ④ CO ₂ 排出順位の確認（順位の意味づけ）		
4 事前調査の結果表示 (2) 削減目標設定	① 「温暖化防止」に必要なライン（25%、50%、80%）と、現在の自分の「ポジション」との距離を知ってもらう ② おおよその節約金額なども参考に目標を設定 ③ 受診者自身に目標を選んでいただく		
5 事前調査の結果表示 (3) 内訳結果	① 上位3分野程度については追加的に情報収集（下位は深追いしない） ② 「そのほか」が20%を大幅に超える場合は、実態を突き止める（事前調査票のデータの見直し等）		
6 個別の対策（1/2） ・「調査入力」ページ ・「個別対策検討」ページ	① 内訳でCO ₂ 排出が多い分野や受診者の関心の高い分野を優先的に、分野別に詳細情報を入力し、分野別の対策を提案 ② 事前調査票で把握できない項目に対しても、コミュニケーションを取りながら、情報を追加		スキル審査実施範囲
7 個別の対策（2/2） ・「個別対策提案」ページ ・「元をとれる？」ページ	① 省エネ機器は、初期投資が割高でもトータルコストでは「得」な場合があることを分かりやすく説明 ② 元が取れるかどうかの試算を実施（あくまでも概算であることを説明）		診断を実施する分野は、スキル審査の際に審査員から指定されます。
8 総合対策の画面	① 受診者とコミュニケーションをとりながら、一緒に実施可能な対策を考える ② CO ₂ 削減と、経済的効果(負担)の両方を勘案する目標達成にこだわりすぎない（大体達成できれば、それで「よし」とする）		スキル審査の対象外
9 対策の一覧表示画面 診断結果レポート	① まとめとして、一覧表、診断結果レポートをもとに、受診家庭に選択していただいた項目を振り返る ② 事後調査票の協力をお願いする ③ この診断の感想を聞く		

図4 うちエコ診断の流れとスキル審査範囲

2. スキル審査の評価項目

スキル審査では、診断実施機関によって表 1 に示すような評価項目を審査します。

表 1 スキル審査評価項目(概要)

審査項目	
1. 提案力	①受診家庭のライフスタイルをイメージできている ②受診家庭の CO ₂ 削減において効果的と思われる分野や対策を把握している ③相手が納得できる「解決策」を提案できている ④行動を起こすために必要な事柄についてのアドバイスができ、その内容が適切である
2. コミュニケーション力	①会話のキャッチボールが成り立つ ②受診者の意見、話を聞いて適切な提案ができる ③時間配分を考えた診断ができる
3. 診断ソフトの操作力	①パソコン画面を受診者から見やすい状態にして操作できる ②画面が表示されたら、図やグラフの説明ができる ③うちエコ診断ソフトの操作ができる

3. スキル審査の受験にあたっての注意事項

① スキル審査時の持ち物について

- ・ スキル審査で使用する、ノートパソコンやマウスは診断実施機関にて準備いたします。ご自身のノートパソコンを使用して受験することはできません。
- ・ 試験教室の机に置くことができるものは原則、筆記用具(鉛筆またはシャープペン・消しゴム・鉛筆削り)、時計(携帯電話、スマートフォンは使用不可)、受診者情報の資料です。

② 不正行為への対応について

- ・ スキル審査中に不正行為や禁止行為が発覚した場合、またはその疑いがある場合は、スキル審査を無効とし、即刻、退室していただきます。
- ・ スキル審査実施後に不正行為や禁止行為が発覚した場合、またはその疑いがある場合は、過去に遡ってスキル審査を無効として、診断実施機関への登録を取り消します。

③ その他、スキル審査について

- ・ スキル審査は、うちエコ診断資格試験に合格し、うちエコ診断士として認定されないと申し込むことはできません。
- ・ スキル審査の実施の有無や登録条件等につきましては、登録希望の診断実施機関にお問合せください。
- ・ うちエコ診断実施機関の一覧は、家庭エコ診断制度ポータルサイトのうちエコ診断資格試験 (<https://www.uchieco-shindan.jp/shindan/implementation.php>)のページからご確認ください。